

2013 年地域安全学会年間優秀論文賞を受賞しました(2014/05/16)

テーマ：災害科学，受賞

場所：兵庫県立大学防災教育センター・人と防災未来センター（神戸市中央区）

当研究所の佐藤翔助教（情報管理・社会連携部門）が 2013 年地域安全学会年間優秀論文賞を受賞しました。同賞は、一年間に地域安全学会論文集に掲載された査読論文の中から最も優秀な論文を選定し、その筆頭著者を表彰するものです。今回は、2013 年度に地域安全学会論文集に採録された査読論文計 44 編を対象に、14 名の学術委員と同学会会長で構成される審査会で審査が行われました。受賞対象となった論文は、次のものです：

「東日本大震災における被災自治体の人的資源運用に関する分析

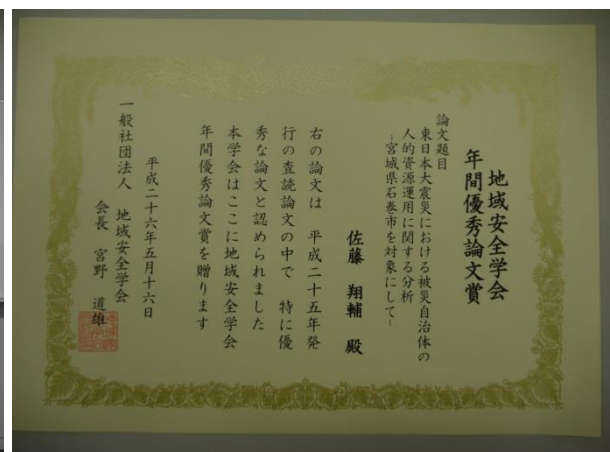
—宮城県石巻市を対象にして—（著者：佐藤翔輔，今村文彦，林春男）」

同論文は、被災自治体、主に石巻市の復興対応における組織構成、人材不足、採用と応援職員派遣による人的資源確保の現状を詳細に調査し、その実態を明らかにしたものです。被災地自治体職員不足という深刻な状況が、復興行政の遅れといった影響を及ぼしているという切実な問題を受けて、その課題解決を目指して調査・分析に取り組んだものです。さらに、同論文では、想定南海トラフ地震津波では、高知県において宮城県の 2 倍以上の人材不足が発生するという推定結果を出し、未来の巨大災害に対する人材確保の深刻さを訴えています。

佐藤翔助教は、2003 年に同学会において地域安全学会論文奨励賞を受賞しており、同賞の最年少記録者となっています。今回の年間優秀論文賞においても、同賞の最年少での受賞であり、2 つの賞で最年少記録を樹立したことになります。



授賞式の様子（左：佐藤翔助教）



賞状

文責：鈴木通江（広報室）